

## 原発特別委員会で高浜原発を視察しました(11/15~16)

福井県高浜町では4機ある原発のうち2機が再稼働しました。町議会議員との懇談の中、再稼働は町と関西電力との信頼関係が良好なこともあり多くの町民が望んでいた、とのことでした。再稼働するための前提には住民と電力会社との信頼関係は必要不可欠なものであると改めて感じました。



## ミニ集会を開きました 11/24 桜木町公会堂 11/29 北園町集会所



桜木町公会堂でのミニ集会

重野議員の地元で「ミニ集会」を開きました。開催した桜木町では小嶋勇司町内会長、北園町では今井廣一町内会長からごあいさついただきました。また、両会場ともに櫻井市長がお越しください、お話をさせていただきました。重野議員からは、各町内に関わる市の事業の様子や市議会では話題になっている事柄、議員活動についての話があり、その後、意見交換をしました。意見交換は活発に行われました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。



北園町集会所でのミニ集会

### 2月定例会議の予定

2月20日(火)～3月22日(木)

3月1日(木)が代表質問

3月7日(水)・8日(木)が一般質問

### 地域イベント で元気発信

▼12月に中央コミセンでクリスマス会のお手伝いをしました。柏崎小学校区の子どもたちを対象にした「かしわっ子クラブ」のイベントです。サンタクローズの衣装で子どもたちと触れ合うのは2年目です。子どもたちからは「サンタさんは日本人なの?」「こんなところにいいの?」と話しかけられたり、ひげを触られたりしました。帰り際には、握手してバイバイを交わしました。純粋な気持ちの子どもたちに癒されました。▼クリスマス会の参加者を見ると、年々少子化が実感されるようになりました。市としても子育て支援策を充実させており、子どもを産み育てやすいまちづくりを進めています。小学生は少なくなりましたが、サンタクローズを待つ子どもたちの心は昔と変わらないものだと思います。▼スポーツハウスで行われた元朝体操には122人の参加者があり、市長も一緒でした。2018年も元気いっぱいに始まりました。地区のイベントを企画運営されている皆様、ありがとうございます。

<重野正毅>



サンタ姿の重野議員

「重野まさき後援会」への入会を募集しています。ホームページからも入会できます。

ホームページ <https://www.masakishigeno.com> Eメール [info@m-shigeno.net](mailto:info@m-shigeno.net)

後援会事務所 ☎0257-24-1671 ★重野正毅はフェイスブックもしています★

# 人を、まちを、未来を、つなげる 重野まさき通信

第12号 平成30年1月15日発行

発行：重野まさき後援会  
事務所：〒945-0072 柏崎市北園町19-47  
連絡先：☎0257-24-1671  
発行責任者：入澤 稔 [後援会内部討議資料]



## あけましておめでとうございます

皆様、旧年中は大変お世話になりました。後援会としても会合を重ね、交流を深められた年でした。今年は後援会としてさらなる飛躍の年にしていきたいと思っております。今年もご支援ご協力よろしくお願いいたします。皆様のますますのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



## 重野まさきを囲む会(後援会総会)を開催しました(12/3)



重野議員の後援会は、発足した当時から教職員OBや陸上協会のメンバーを中心に活動し、議員を支えています。その後、次第に地元の皆様や活動に共感してくださる方々、教員時代の教え子など、すそ野が広がってきています。

また、重野議員との関係性だけではなく、後援会員同士の交流も広がりを見せています。市民の声を市政に届けていくためにも、この輪を更に広げ、どんなことでも相談できる密な関係を築いていきたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。

「囲む会」は毎年この時期に開催しています。年々参加者が増えており、嬉しく思います。前回からは櫻井市長も駆け付けてくださっており、会の重みが増しています。

後援会長のあいさつのあと、櫻井市長からは重野議員との関係や激励のお言葉を、また、参加者からは「教育のまち柏崎のキャプテンとして頑張ってもらいたい」「後援会員のチームワークはばっちり」という祝辞をいただきました。

重野議員からは議員活動の中心としている「教育」「福祉」それを支える「経済」の話とともに、議会報告として、市の最重要課題となっている「人口減少問題」とそれに関わる小中学校の統廃合、「シティセールス」として発信すべき柏崎市のよさについて、防災・震災の克服を絡めた話がありました。改めて市の課題が山積していることを知る機会になりました。



後援会員同士の交流も深まり、いい会になったと思います。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



# 12月定例会議終了 ～委員会協議会でも議論を深めています～

補正予算や条例等は各常任委員会で審査されたのち、本会議ですべて可決しました。

- 西岩野遺跡(山本地内)発掘作業への予算…県内でも最重要と思われる遺跡の発掘調査です。
- 国民休養地の廃止…今年度いっぱい廃止し、風力発電設置場所地として検討していきます。
- 来年度の一般会計予算編成状況…510億円くらいになるとのことですが、今のところ47億円程度の財源が不足しています。→2月定例会議に正式提案。

## 今回の重野議員の一般質問

### 1 柏崎市の通級指導教室の今後



#### 通級指導教室とは…

柏崎市の通級指導教室には「言語障害(ことば)」「難聴(きこえ)」「発達障害」の3種類があります。そこは、他の学校から児童生徒が、専門的な指導を受けるために週に1回程度通って活動する教室です。現在、通級指導教室を利用している小学生は市内の全小学生の5%、中学生は市内の全中学生の2%です。

#### 問題意識

現在の柏崎市の学校が落ち着き、教育活動に取り組んでいる要因の一つに通級指導教室の存在があると思います。その通級指導教室の現状を考えたとき、今後さらに教育環境を充実させていくためには今のままでは不十分ではないかと考えています。



(質問の要旨) 来年度の状況が現状の教室数、教員数の配置のままだった場合、今後増え続ける通級を希望する児童生徒への対応と通級指導教室の担当者の負担軽減をどうしていく考えか、お聞かせください。

(教育長答弁抜粋) 通級指導教室を利用する児童生徒数は増加している。市として県教育委員会に通級指導教室増設を申請しているが容易に申請が通ることは難しいと思われる。このままでは、大勢の希望者がいても全員を受け入れることができない状況になるとされる。市としては通級指導教室の指導補助員を配置し始めたが、担当教員の負担軽減までは至っていない現状がある。引き続き県に強く要望し続けるとともに、学校全体では現状でできる支援体制を充実させるように働きかけていく。

通級指導教室が増設できるように、市と歩調を合わせて県へ働きかけていきます。(重野)

### 2 小中学校の統廃合の方向

#### 現状から見える問題点

柏崎市での学校統合は、平成24年4月の小学校5校の統合以降行われておりません。5年後、柏崎市の小学生は現在より300人、中学生は240人くらい減っていると予想されます。

なお、数年後には柏崎市の県立高校の再編も進められるとされます。



(質問の要旨) 公共施設等総合管理計画では学校施設を「計画には教育環境への配慮のほか、地域コミュニティ・防災の拠点としての位置づけも考慮します」としています。第五次総合計画のパブリックコメントの小中学校の統廃合についての回答では「学校統合を行政が一方向的に進めることはできません。保護者や地域住民の意向を踏まえた協議を行い、地域の合意を得た上で進める必要があると考えています。」とあります。その中、今後の柏崎市の小中学校の統廃合は行うべきこととして考えているのか、お聞かせください。

(教育長答弁抜粋) 中学校では集団学習の実施の制約、人間関係の固定化の懸念、部活動の選択などからある程度の学校規模をもたせることが大切だと考えている。小学校では地域とのつながりや関わりを大切にすることが望ましいと考えている。複式学級の解消など教育環境を整えることに主眼をおき、学校がもつ多様な機能にも目を向けながら統廃合を検討するが、保護者と学区民の共通の理解によることが前提であり、地域事情、地域間の歴史的なつながりを踏まえた中で考えていく。この1年間の経過としては、統廃合の検討の必要があるかどうかを高柳中学校を対象に小中学校の保護者と意見交換会を行った。



学校の統廃合をすぐに進めなければならないとは思っていません。しかし、柏崎市全体の問題として、今から市民全員で考えていく必要があると思っています。(重野)

## 柏崎市議会議員定数を適正化するように検討しています

現在の議員定数は26人です。柏崎市議会では様々な視点から議員定数を考え、議会運営委員会でその方向を導き出そうとしています。ここでの検討は、議員定数を削減していくために行われるものではない、ということが共通理解されています。

議会の在るべき姿を考えたとき、少なくとも執行部のチェックをしっかりと行える人数でなければなりません。単に自治体の「人口」だけに注目して、他と比較して定数を決めていいものなのかは疑問があります。結論は遅くとも今年の9月議会までには出す予定です。



## 新庁舎の完成模型です

新庁舎は、今年度中に実施設計を完了させ、来年度から工事に取り掛かり、2020年度に完成する予定です。その模型ができました。

新庁舎の建設場所は、アルフォーレの駅側の隣。

建物は、4階建ての地下はなし。議場は本館脇別棟の1階です(写真では本館の左)。現在は別館などに分かれている部署の窓口すべてが、この建物内に入る予定です。現庁舎よりも利用しやすくなります。今後は、駅前のにぎわいの創出、現庁舎跡地の利活用などについて、議会でも議論をしていきます。